

## テーラーメイド教育システムの構築

著者	佐野 太亮, 畠 榮, 澤村 暢, 関 雅幸, 高松 邦彦, 坂本 秀生
雑誌名	神戸常盤大学紀要. 別冊
号	12
ページ	19-19
発行年	2018-10-31
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1492/00001002/">http://id.nii.ac.jp/1492/00001002/</a>

4-P-6

## テラーメイド教育システムの構築

佐野太亮<sup>1)</sup>畠 榮<sup>1)</sup> 澤村 暢<sup>1)</sup> 関 雅幸<sup>1)</sup> 高松邦彦<sup>2)</sup> 坂本秀生<sup>1)</sup>

【はじめに】現在医療検査学科では、過去 10 年間分の臨床検査技師国家試験問題や国家試験問題を元に作成した改変問題の約 4000 問題を、多くの OS に対応した FileMaker (ファイルメーカー社) データベース管理システム (DBMS) を用い管理している。しかし、蓄積した問題は、少数の教員にのみ利用可能な状態で、模擬試験問題や補習用問題の作成に限り使用されている。

【使用した、データベースおよび検討方法】今回我々は、データベースを活用するため、現在データベースに存在する 5 択問題から、思考能力が必要とされる語句記入問題を、本システムでデータベース化し、デジタルの国試問題集 (以下、デジタル問題集) を作成した。デジタル問題集の利用には、ソフトが無料公開されている iPad を用いた。このソフトは柔軟性に優れ、あらゆるタスクに対応し、学生個人に適したシステムの作成を行う事が出来る。

検討方法としては、デジタル問題集と従来の紙媒体の問題集の有用性を比較するため、両問題集を用い自主学习を行い、どちらが学生の成績や学習意欲の向上に寄与するかを調べた。

【結果および考察】本検討では紙媒体とデジタル問題集について、成績、勉強時間、学習意欲、どの解析においても判定保留という結果となった。学習意欲アンケートの結果では、「タブレットでは勉強に集中できる。」「問題それぞれの傾向をつかむことが出来た。」などの意見が多く、高い評価を得た。

---

1) 保健科学部医療検査学科 2) 教育学部子ども教育学科